

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-503462(P2005-503462A)

【公表日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-005

【出願番号】特願2003-529834(P2003-529834)

【国際特許分類】

C 08 G 63/80 (2006.01)

C 08 G 63/199 (2006.01)

【F I】

C 08 G 63/80

C 08 G 63/199

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月9日(2005.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも70モル%のテレフタル酸及び少なくとも70モル%の1,4-シクロヘキサンジメタノール(酸成分のモル%は合計100モル%でありかつグリコール成分のモル%は合計100モル%である)を含んでなるコポリエステルであって、出発インヘレント粘度が0.4~0.8dL/gであり、そのインヘレント粘度が0.9dL/g超まで増加するように前記コポリエステルの融点より140~2低い温度において1分~100時間固相重合させたものであり、170においてDSCによって測定した、ガラス状態からの半結晶化時間が2~10分であるコポリエステル。

【請求項2】

前記コポリエステルが0.6~0.85dL/gの出発インヘレント粘度を有し且つ前記コポリエステルの融点より100~10低い温度において固相処理したものである請求項1に記載のコポリエステル。

【請求項3】

更に、DSC加熱走査によって測定した半結晶融点が240~270である請求項1に記載のコポリエステル。

【請求項4】

前記二酸がテレフタル酸、イソフタル酸、シクロヘキサンジカルボン酸、ナフタレンジカルボン酸、ジフェニルジカルボン酸、スチルベンジカルボン酸及びそれらの混合物からなる群から選ばれた追加の二酸0~30モル%を更に含む請求項1に記載のコポリエステル。

【請求項5】

イソフタル酸20~30モル%及び1,4-シクロヘキサンジメタノール100モル%を含む請求項4に記載のコポリエステル。

【請求項6】

前記ジオールがエチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、プロパンジオール、ブタンジオール、ペンタンジオール、ヘキサンジオール、テトラメチルシクロブタンジオール、1,4-シクロヘキサンジメタノール及びそれらの混合物か

らなる群から選ばれた第2のジオール0～30モル%を更に含む請求項1に記載のコポリエステル。

【請求項7】

前記コポリエステルがテレフタル酸100モル%、エチレングリコール10～23モル%を含み、そして残りが1,4-シクロヘキサンジメタノールである請求項6に記載のコポリエステル。

【請求項8】

前記コポリエステルがテレフタル酸100モル%、エチレングリコール15～20モル%を含み、そして残りが1,4-シクロヘキサンジメタノールである請求項6に記載のコポリエステル。

【請求項9】

前記コポリエステル組成物が固相化後に0.95～1.10dL/gのインヘレント粘度を有する請求項1に記載のコポリエステル。

【請求項10】

出発インヘレント粘度が0.4～0.8dL/gであって、インヘレント粘度が0.9dL/g超まで増加するように前記コポリエステルの融点より140～2低い温度において1分～100時間固相重合されたものであり、170においてDSCによって測定した、ガラス状態からの半結晶化時間が2～10分である、少なくとも70モル%のテレフタル酸及び少なくとも70モル%の1,4-シクロヘキサンジメタノール（酸成分のモル%は合計100モル%でありかつグリコール成分のモル%は合計100モル%である）を含むPCTコポリエステル組成物を少なくとも50重量%含んでなる押出プロー成形品。

【請求項11】

前記コポリエステルが0.6～0.85dL/gの出発インヘレント粘度を有し且つ前記コポリエステルの融点より100～10低い温度において固相処理したものである請求項10に記載の押出プロー成形品。

【請求項12】

更に、DSC加熱走査によって測定した、半結晶融点が240～270である請求項10に記載の押出プロー成形品。

【請求項13】

前記コポリエステルの二酸がテレフタル酸、イソフタル酸、シクロヘキサンジカルボン酸、ナフタレンジカルボン酸、ジフェニルジカルボン酸、スチルベンジカルボン酸及びそれらの混合物からなる群から選ばれた追加の二酸0～30モル%を更に含む請求項10に記載の押出プロー成形品。

【請求項14】

前記コポリエステルがイソフタル酸20～30モル%及び1,4-シクロヘキサンジメタノール100モル%を含む請求項13に記載の押出プロー成形品。

【請求項15】

前記コポリエステルのジオールがエチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、プロパンジオール、ブタンジオール、ペンタンジオール、ヘキサンジオール、テトラメチルシクロブタンジオール、1,4-シクロヘキサンジメタノール及びそれらの混合物からなる群から選ばれた第2のジオール0～30モル%を更に含む請求項10に記載の押出プロー成形品。

【請求項16】

テレフタル酸100モル%、エチレングリコール10～23モル%を含み、そして残りが1,4-シクロヘキサンジメタノールであるコポリエステルから構成される請求項10に記載の押出プロー成形品。

【請求項17】

テレフタル酸100モル%、エチレングリコール15～20モル%を含み、そして残りが1,4-シクロヘキサンジメタノールであるコポリエステルから構成される請求項10

に記載の押出ブロー成形品。

【請求項 18】

前記コポリエステルが 0.95 ~ 1.10 dL/g の固相化後のインヘレント粘度を有する請求項 10 に記載の押出ブロー成形品。

【請求項 19】

少なくとも 75 重量 % の前記コポリエステルを含む請求項 10 に記載の押出ブロー成形品。

【請求項 20】

少なくとも 95 重量 % の前記コポリエステルを含む請求項 10 に記載の押出ブロー成形品。

【請求項 21】

前記成形品が食品容器、パーソナルケア容器、医療用容器、工業用容器、家庭電化製品部品及び高級家具からなる群から選ばれた請求項 10 に記載の押出ブロー成形品。